



フランス便り

～2018年12月～



【はじめに】

Bonjour! ストラスブールに留学中の飯塚です。前回のフランス便りの最後にも書きましたが、ストラスブールが1番盛り上がる季節がやってきました。今月は様々なことがあり書きたいことが多くなってしまったのでいつもより長めですが、良かったら読んでみてください! それではさっそく紹介していきます!

【もう1つのクリスマス】

ストラスブールがあるアルザス地方には12月25日以外にもう1つクリスマスの日があることを知っていますか?それが12月6日の聖ニコラの日です。「聖ニコラ?聞いたことないな。」と思う人が大半だと思うのですが、聖ニコラは聖ニコラウスのことで、つまりサンタクロースのことです。彼はトルコに生まれた司教で“子どもの守護聖人”と呼ばれており、彼が亡くなった12月6日が聖ニコラの日になったようです。子どもたちは寝る前に靴下や靴を用意して寝ます。翌朝1年間いい子にしていた子どもにはManala(マナラ)が、悪い子にはニンジンや炭が送られるようです。Manala(マナラ)というのは人の形をしたブリオッシュ風のパンです。聖ニコラの日には子どもたちの健やかな成長を祈ってこのManala(マナラ)を食べます。私が通っている語学学校ではこの日、マナラとみかんが先生と生徒に振舞われるということで授業の休憩時間にみんなでカフェテリアに行きました。マナラとみかん以外にもジュースやコーヒーなどの飲み物も用意してありたくさんの先生や生徒がお話しをしながら食べていました。またこの日はカフェテリアに紙コップを持っていけば1杯無料で飲み物が頼めたので私は友達と一緒にchocolat chaud(ホットショコラ)を飲みました。休憩が終わった後は先生がYouTubeで聖ニコラのお話の歌を見せてくれました。しかし、この歌の内容が衝撃的でした。簡単に説明すると、落穂拾いに出かけた3人の子どもが夜になり肉屋さんを訪ねるのですが、この肉屋さんは訪ねてきた3人の子どもを殺して塩漬けの肉にしてしまいます。7年後その肉屋さんを聖ニコラが訪ねた時、肉屋さんは料理を出しましたが聖ニコラは「7年前に塩漬けしたあのお肉が食べたい」といいます。それを聞いた肉屋さんはばれたと思い逃げました。聖ニコラは子供たちが入った壺のところで3本の指を広げると3人の子どもは生き返りました。というお話です。どうですか?私は初めて聞いた時「子どもを殺して塩漬けにするなんて恐ろしいお話だ!」ととてもびっくりしました。このお話は「La légende de saint nicolas」というお話でYouTubeにもあがっているので興味のある人はぜひ見てみてください! (saint nicolas だけでも出てきました。)



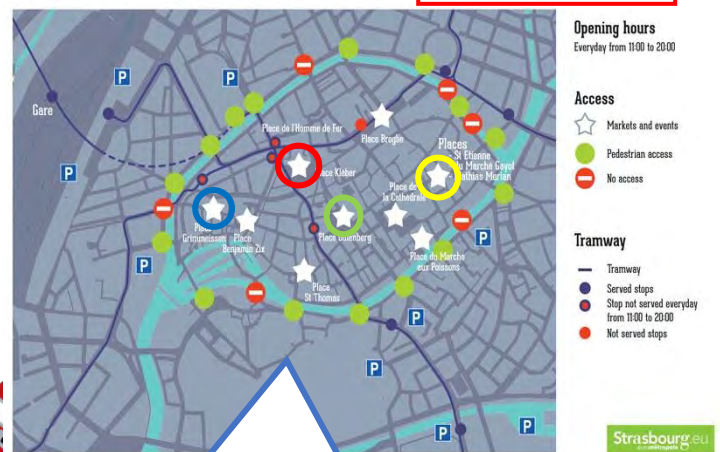
Manala (マナラ)
お店によってデザインがいろいろで面白いですよ。

【ストラスブールの Marche de Noël】

11月下旬からクリスマスまではストラスブールが1年で1番輝く季節です。なぜなら市内のたくさんのところでMarche de Noël(マルシェ・ド・ノエル)が開かれるからです。Marche de Noël(マルシェ・ド・ノエル)はフランス語でクリスマスマーケットという意味で、キリストの生誕を祝う12月25日のクリスマス準備のために開かれる市場のことです。このクリスマスマーケットはヨーロッパのたくさんの国や街で開催されますが、ストラスブールのクリスマスマーケットはその中でもヨーロッパ最大級でフランス最古のクリ

Strasbourg, Capitale de Noël 2018

Capitale de Noël は
“クリスマスの首都”
という意味です



ちなみにフランス語で
サンタクロースは
Père Noël (ペールノエル) や
Papa Noël (パパノエル)
といいます!



Marche de Noël (マルシェ・ド・ノエル) の地図です。
☆がついているところが Marche de Noël の開催場所です。



スマスママーケットだといわれています。また、EBD (European Best Destinations) がインターネットの投票で決めるヨーロッパのクリスマスマーケットランキングでも 2016 年 2 位、2017 年に 2 位、2018 年は 5 位を獲得するなど毎年上位に入るほどクリスマスマーケットで盛り上がる街です。世界遺産にもなっている旧市街地を中心に 9 か所で 11 月 23 日から 12 月 30 日まで約 1 か月間開催されます。(12 月 25 日は祝日のため休日。12 月 26 日から 12 月 30 日までは大聖堂の近くのクリスマスマーケットのみ開催される。) この期間はクリスマスマーケットももちろんのこと、道沿いのお店もクリスマスの飾り付けをし、またそれぞれの道の上にも様々なイルミネーションが施されます。

《クリスマスマーケットについて》

クリスマスマーケットは指定された広場にたくさんの小屋の屋台が立ち並びます。そこではジャンルを問わずいろいろなものが売られています。例えば小物ではクリスマスツリー用の飾りやスノードーム、ロウソク、帽子やおもちゃ、木工品などさまざまです。また食べ物では、クレープをはじめパンの上にチーズとベーコンがのったものやソーセージがのったパン、プレッツェルやクッキーなどが売られています。またアルザス地方の伝統の物や料理も売られておりアル

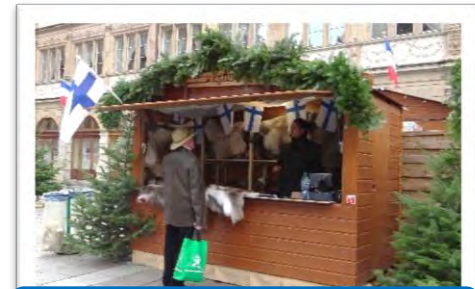
ザス陶器やアルザス料理のシュークルートなどがありました。また飲み物は水やオレンジジュース、ココアをはじめヨーロッパで冬によく飲まれる vin chaud(ホットワイン)もたくさんのお店で売られています。ホットワインといえば赤ワインを想像するかもしれませんがアルザスは白ワインが有名なので白のホットワインも売られています。私はまだワインを美味しく飲むことができないのですが、このホットワインはフルーツやスパイスが入っているため甘く、またアルコールも比較的飛んでいるので美味しく飲むことができました。飲むと体の中からぽかぽかしてくるのでこの時期にぴったりの飲み物です。赤白どちらも美味しかったですが、個人的には白のホットワインの方が好きでした。



こういう屋台がたくさん並びます。どのお店もとっても素敵です。

《招待国の Marche de Noël (マルシェ・ド・ノエル)》

ストラスブールは毎年招待国を決め、その国の食べ物や物売るクリスマスマーケットも開いています。今年の招待国はフィンランドで place Gutenberg(黄緑の丸の☆)でやっていました。初めて来たときフィンランドの国旗が掲げてあったので不思議に思っていました。調べてみると招待国でした。大聖堂の近くということでたくさんの人々で賑わっており、特に飲食店は長蛇の列ができていました。私が驚いたのは鮭の燻製です。実際にその場で燻製しているのでその工程を見ることができます。(もちろんその鮭を買うこともできます。) また動物の毛皮やフィン



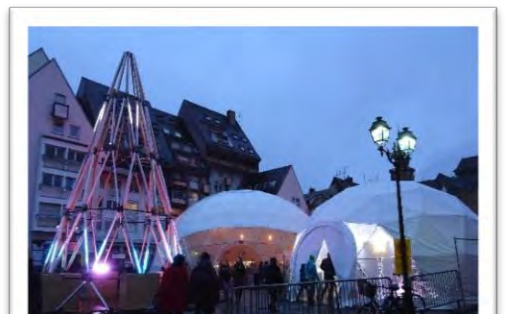
フィンランドの屋台です。ここでは毛皮を売っていました。

ランドの小物なども売っているためここでは少し違ったフィンランドのクリスマス気分を味わうことができました。

《4つのテーマ》

今年のストラスブールのクリスマスマーケットは場所によって 4 つのテーマに分かれています。その 4 つのテーマというのは①Noël autrement(ひと味ちがうクリスマス)②Noël secret (秘密のクリスマス) ③Le cœur de Noël (クリスマス心) ④Noël magique (魔法のクリスマス) です。このうち①②③の場所にはそれぞれ 1 つずつ大きなクリスマスツリーが展示されたので簡単に紹介します。

①Noël autrement は上の地図の青い丸の☆の場所です。「ひと味ちがうクリスマス」のテーマ通り他の場所とは雰囲気が全く違い、ツリーや周りの建物からわかるとおり近代風になっています。ここの屋台は木の小屋ではなくテントやコン



①Noël autrement

テナになっており、他の屋台では見かけなかった家電製品や服、本などを売っていました。また真ん中の大きなテントでは飲食物が売られていました。



③Le cœur de Noël

②Noël secret は上の地図の黄色い丸の☆場所です。ここではクリスマスマーケットは開かれていないのですがツリーや出し物が開かれていました。このツリーの高さは 10 メートルあり、大きめのランタンで飾られキラキラしすぎない落ち着いた雰囲気ツリーでした。1 番上には不死鳥がのっておりこのテーマにふさわしい装飾でした。また実はこのツリーは 87 本のモミの木を使って秘密の構造で1本の木に組み立てているらしいです。見に行ったときには全く気がつかなかったのあとで知って驚きました。



②Noël secret

③Le cœur de Noël は赤い丸の☆の場所です。ここには街で1番大きなツリーが立っています。ツリーの説明が書いてあったのですが、年齢は 90 歳、高さは 30 メートル、重さは 7 トン、横幅は 12 メートルもあるそうです。たくさんのイルミネーションがしてあるこのツリーは Marche de Noël が始まった 11 月 23 日から 2019 年 1 月 9 日まで楽しむことができます。ちなみにここにはスケート場がつくられており、たくさんの方が滑って楽しんでいました。

④Noël magique は①②③以外のすべての場所が対象です。ここでは上記に述べたように木の小屋が立ち並びいろいろなものを売っています。お客さんをお呼び寄せるためにお店ごとに様々な装飾をしているので1つ1つのお店がとてもかわいいです。

《Marche de Noël (マルシェ・ド・ノエル) の写真》

この Marche de Noël (マルシェ・ド・ノエル) でたくさん写真を撮りました。せっかくなので少し紹介します！

大聖堂前のクリスマスマーケット
ここだけで 40 近くのお店がありました

ツリー用の飾りがたくさん！

ロウソクのお店です。
色とりどりで本当にきれいです。③の Le cœur de Noël にある
スケートリンクvin chaud(ホットワイン)のお店。
お鍋にみかんがのっています。フィンランドのところで見た
鮭の燻製